

株式会社日水コン

会社案内



〒163-1122 東京都新宿区西新宿6-22-1 (新宿スクエアタワー)

TEL. 03-5323-6200 (代) FAX. 03-5323-6480

<https://www.nissuicon.co.jp>

トップメッセージ



日水コンの目指す姿は「水のインパクトカンパニー」です。

創業以来、当社は上下水道を主な業務領域とする「水コンサルタント」として業界をリードしてきました。

事業活動を通じて水に関する様々な社会課題を解決することは、当社の使命です。これらの解決を通して持続的な成長を遂げることで、社会に対して多くの価値を提供できると確信しています。

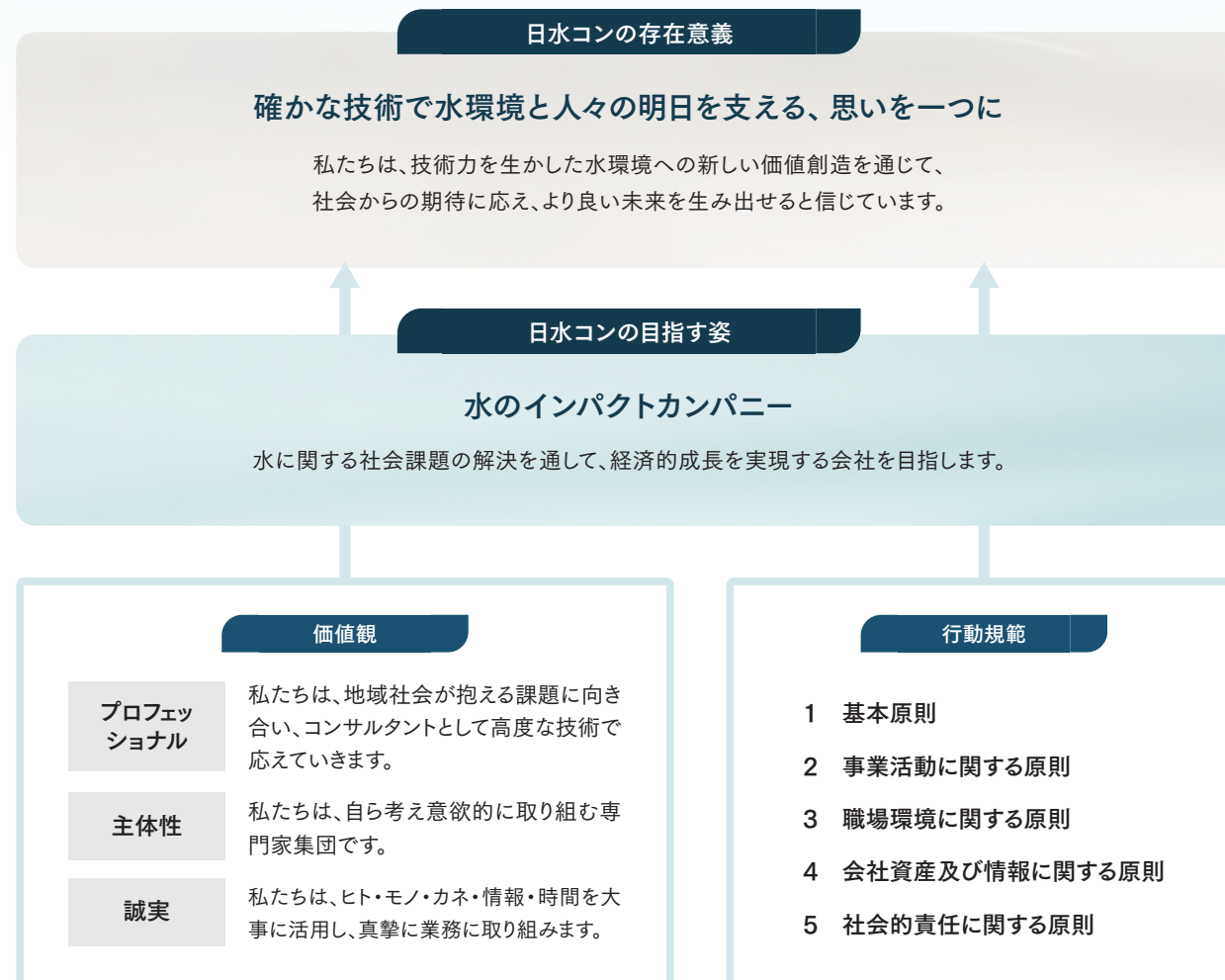
そのために、経営基盤を整え、経営資本を効果的に活用することで、水インフラに関わる高い技術力と市場ニーズを結びつけ、新しいビジネスチャンスを創出しています。

今後も日水コンは、水に関する社会課題を解決することで成長する「水のインパクトカンパニー」を目指し続けます。そして、お客さまや地域社会、より多くのステークホルダーの皆さまに信頼され、選ばれる存在でありたいと願っています。

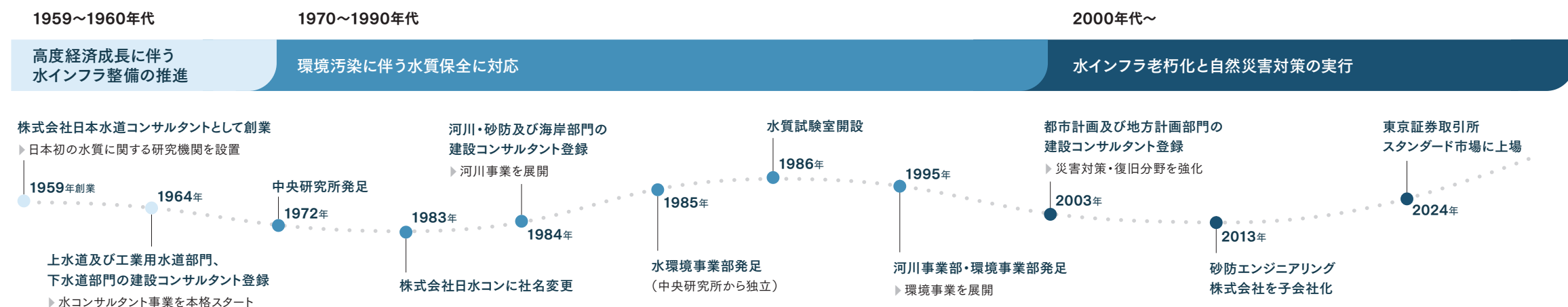
皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

株式会社日水コン 代表取締役社長
中西 新二

経営理念体系



沿革



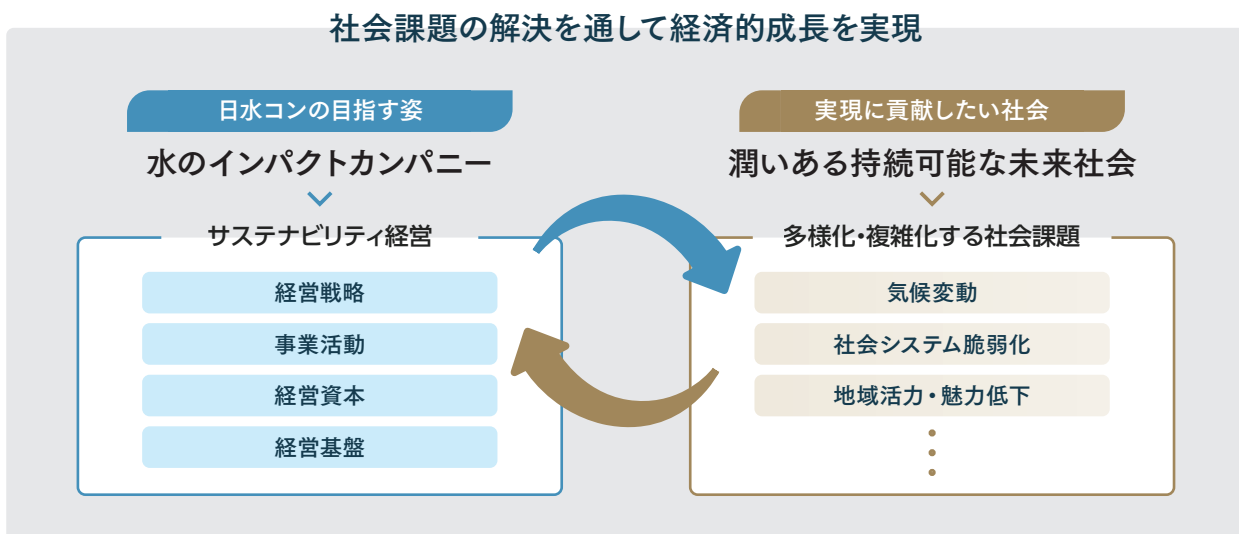
本社ビル



価値創造

当社は、水に関する多くの社会課題のうち、「気候変動」「社会システムの脆弱化」「地域活力・魅力の低下」の3つを、今、取り組むべき重要課題（マテリアリティ）と位置づけています。

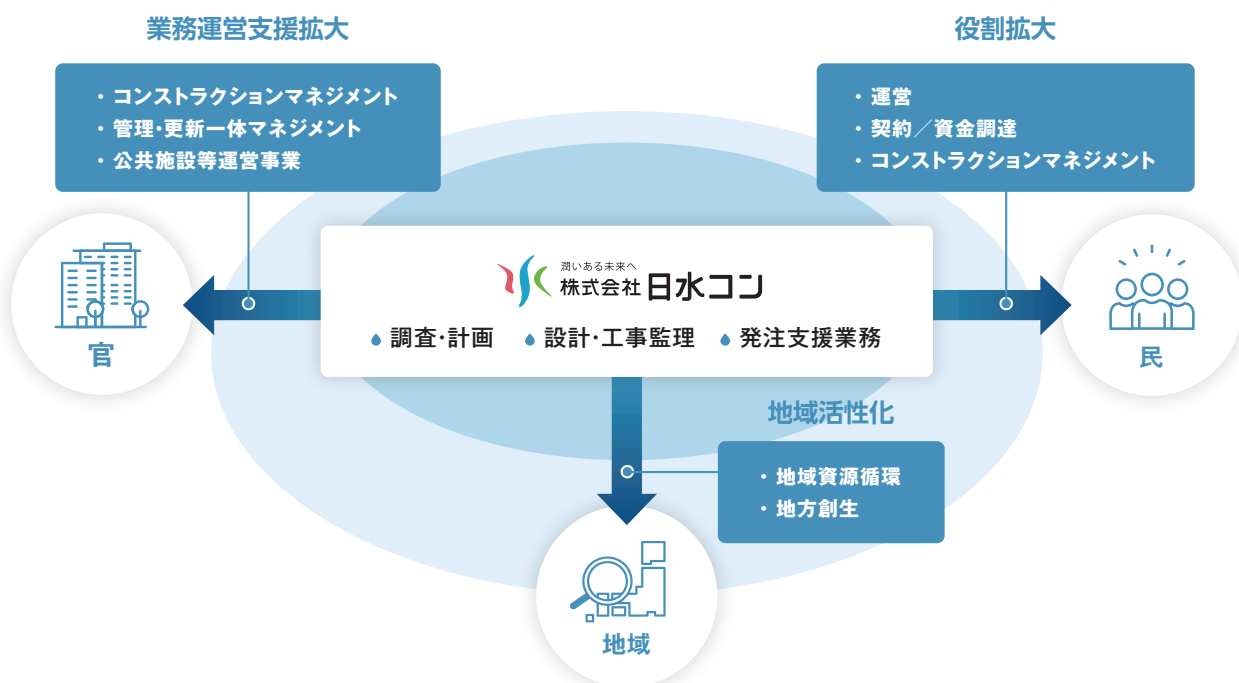
これら社会課題の解決を通して、「潤いある持続可能な未来社会」の実現に貢献してまいります。また、サステナビリティ経営を推進することで、「水のインパクトカンパニー」として経済的成長の実現と社会価値の創造を目指してまいります。



事業構造の方向性

わが国を取り巻く水インフラ事業は、現在多くの課題を抱えています。少子高齢化や災害の激甚化等を背景に、国や地方自治体の財政はますます厳しくなっています。さらに高度経済成長期に整備された各地域のインフラ施設が老朽化し、大量の更新投資が必要となっています。加えて地方公共団体職員の高齢化や担い手不足も深刻化しており、技術の伝承にも支障が生じてきています。

これら水インフラ事業を取り巻く課題を解決するため、当社は、「官」、「民」そして「地域」のそれぞれに対して積極的にソリューションを提供するとともに、水インフラ事業そのものとの関わりを深め、総合的かつ俯瞰的な視点で支えていきます。



社会課題の解決へ

当社は、長年培ってきた高い技術力を土台に、地域に最適なソリューションを提供することで、社会課題の解決に取り組んでいます。



脱炭素社会の実現・
大型台風や集中豪雨への備え

カーボンニュートラル

上下水道分野の省・創・再エネルギー化に関する導入可能性調査を実施し、上水道・下水道の温暖化対策推進計画を策定します。

洪水・浸水対策

流域治水の観点から、広範囲にわたり外水氾濫や内水氾濫を一体として扱った浸水対策を策定します。また、災害リスクの段階的評価により被害が起りやすい流域を抽出し、土砂・洪水氾濫対策計画を策定します。



被災時の迅速な復旧能力・
水インフラ施設の適切な維持管理

施設の耐災害性強化・ 復旧支援

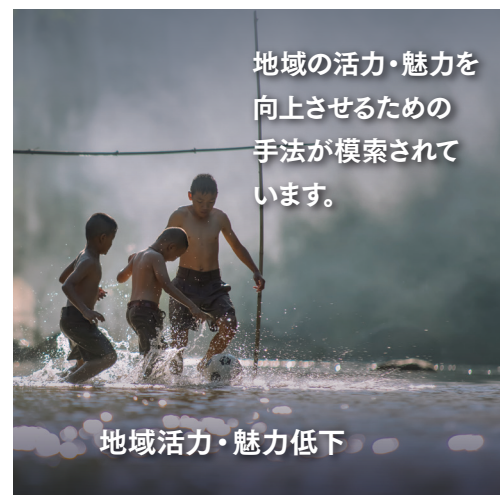
重要な施設を地震から守る「防災」や、災害時の被害を減らす「減災」を組み合わせた総合的な耐震化計画を策定します。また、過去の大規模災害での復旧支援経験を踏まえたBCP訓練を支援します。

施設の老朽化・ 維持管理対策

AIを活用した施設の劣化予測やクラウド型台帳管理システム利用等により、膨大な施設のストックを適切に管理し、効率的な老朽化・維持管理対策を提案します。

PPP/PFI （官民連携）

発注者側としてのサポート業務や事業者側としての事業運営業務という、双方の観点から事業モデルを構築します。



経済的格差の是正・
地域創生における新しい価値の創出

流域管理・ 小規模水インフラ管理

事業の現状分析・将来予測をもとに、市町村の区域を超えた多様な広域連携を推進する方策を提案します。また、過疎地域の水インフラ維持に対して小規模で分散型のサービスモデルを構築します。

水資源の利活用

水道施設、河川、砂防・溪流等における水力発電、下水汚泥の肥料化等、資源・エネルギー化技術の開発や活用方策を提案します。

まちづくり

水の未利用エネルギーを活用した防災拠点の整備や維持管理運営、水辺の憩い空間の創造を通じて地域の活性化を支援します。

事業案内

当社は、水道・下水道・河川を中心に、流域全体にわたる水関連事業を幅広く展開しています。
計画・設計から官民連携（PPP／PFI）による事業運営までを担い、人々の安全で快適な暮らしは
もちろん、地域社会、経済、環境、産業における多様な社会活動を支えています。

水道

安全で安定した 水の供給を支える

施設の老朽化に伴う漏水事故、自然災害による施設の破損・断水、人口減少による水需要と水道料金収入の減少、水質リスク等の地域が抱える課題に対し、事業運営や施設整備、維持管理の合理化を提案・支援し、水の供給を支えています。

水道の計画・設計・工事監理・維持管理、施設の老朽化・耐震化対策、微量化学物質対策 等

下水道

生活環境を保全し 浸水から街を守る

適切な下水処理や速やかな雨水排水に加え、地震等の災害に強い施設の整備、経営改善の提案や維持管理の仕組みづくりを通じて、下水道の安定的な運営を支えています。

下水道の計画・設計・工事監理・維持管理、雨水管理・浸水対策、施設の老朽化・耐震化対策、災害復旧支援 等

河川

洪水から街を守り 川と人をつなぐ

河川と地域を一体にとらえた「流域治水」の考え方で浸水被害を防ぐとともに、水資源の有効活用を図る利水や、自然環境や景観、生態系等を守る環境整備を行っています。

河川の整備・治水対策、砂防施設の設計・維持管理、土砂洪水氾濫対策、ダム管理運用支援、河川環境整備 等

環境

プロセス、現象を 解析・評価し、改善する

水道、下水道の水処理プロセスの調査・解析・評価、し尿処理施設の更新、河川・湖沼等の水質調査・解析、廃棄物処理・再資源化を通じて、健全な水環境を保全しています。

水処理方式の検討、水質リスク評価、ごみ処理基本計画、し尿処理施設の再編・統合検討 等

アグリインフラ

ICTで農村地域の 持続可能性を支える

ICTやIoT等のデジタル技術を活用し、農業水利施設の管理を省力化・高度化するとともに、農村地域の防災・減災や水資源の有効活用に取り組んでいます。

スマート農業関連技術の活用、農業水利施設の遠隔管理 等

DXイノベーション

水インフラを DXでデザインする

GISによる情報の可視化、クラウドを用いたリアルタイム情報共有、AIによる予測・分析を組み合わせ、地域ごとのニーズに応じた業務支援システムを開発・提供しています。

台帳管理システム、設備管理システム、リアルタイム浸水予測、ダム管理支援システム 等

プラント機械・電気

水インフラシステムの 最適化を提案する

水インフラ施設の機能を左右するプラント機械・電気設備について、最適なソリューションを提供するため、ニーズに応じたシステム提案を行います。

設備の調査診断・計画・設計・施工管理、省・創・再エネルギー化対策、脱炭素計画 等

建築・建築設備

機能と景観の 調和を目指す

水インフラ施設の建物内外をトータルにコーディネートし、構造や設備、デザインの調和を図ることで、長く安心して使われる公共施設となるよう設計しています。

新築・改修設計、耐震・耐震補強設計、耐水化診断、BIM／CIM、ZEB化 等

構造設計

災害に強く 長寿命な構造物を設計する

水インフラ施設を対象に、構造解析、耐震診断、補強設計を行い、地震や老朽化に備えた安全性・耐久性の向上に取り組んでいます。

水管橋や高架水槽の構造解析、地盤連成モデルを用いた動的非線形解析 等

再生可能エネルギー

水を起点に 新しい価値を創出する

地域に眠る水の未利用ポテンシャルを生かし、価値あるエネルギーへと転換することで、再生可能エネルギーの活用を推進します。

マイクロ水力発電、太陽熱・地下水熱・下水熱利用システム 等

海外

水インフラで 世界に潤いと未来を

上下水道分野で培った技術力とプロジェクトマネジメント力で、開発途上国の安全な水供給と衛生環境の向上を図り、現地の社会課題や制度にも配慮した持続可能な水インフラの構築を支援しています。

カンボジア、ラオス、ベトナムの水インフラ施設完工や、エチオピア、ルワンダ、ケニア、パキスタン、ベトナム、カンボジアでの技術協力 等

R&D

日水コンの 技術力向上を担う

基礎研究に加え、分野横断的に専門技術を融合した技術開発までを行い、技術力の高度化を図るとともにイノベーションを創出しています。研究成果は、実際のプロジェクトにも応用されています。

AIノズルカメラ調査技術、水環境健全性指標アプリ、浸水ハザードマップ 等

